

資 料

- 1 PDM (プロジェクト・デザイン・マトリックス)
- 2 プロジェクト投入実績
- 3 プロジェクト活動実績
- 4 ミニッツ、合同評価報告書 (和文)
- 5 ミニッツ、合同評価報告書 (中文)

1 PDM (プロジェクト・デザイン・マトリックス)

中国ポリオ対策プロジェクト Project Design Matrix (PDM)

作成日: 1997/07/09

協力期間: 1996/12/04~1999/12/03 (3年間)

対象地域: 南方ハイリスク省を中心とした中国

作成方法: 担当課作成

中国側実施機関: 中国衛生部

日本側実施機関: JICA

ターゲットグループ: 南方ハイリスク省を中心とした中国の医師、防疫関係者

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>上位目標 中国国内から野性株ポリオウイルスが根絶される。</p>	<p>1. 最近、過去3年間、土着の野性株ポリオによる患者数が0である。 2. 最近、過去3年間、ポリオワクチン接種活動、サーベイランス、実験室診断技術がWHOの定める基準を維持している。</p>	<p>WHO報告書 西太平洋地域ポリオ根絶確認委員会調査データ 中国ポリオ根絶確認委員会調査データ</p>	<p>WHO、JICA等国際機関と中国政府が協力体制を維持する。</p>
<p>プロジェクト目標 南方ハイリスク省を中心とした中国において、ポリオワクチン接種活動、サーベイランス、実験室診断技術がWHOの定める基準に達する。</p>	<p>1. 土着の野性株ポリオ患者数 2. AFPサーベイランスと実験室診断の国際レビュー成績 3. 輸入野性株ポリオ症例に対する対策</p>	<p>1. 衛生部報告 2. 衛生部報告・WHO報告 3. 衛生部報告</p>	<p>a. 中央政府のポリオ根絶に向けての財政的支援が後退しない。 b. プロジェクト対象以外の省の対応策が現在より後退しない。 c. 各省の適切なワクチン接種システムが維持される。</p>
<p>成果 1. 南方ハイリスク省のAFPサーベイランスにかかる人材が育成される。 2. 南方ハイリスク省の防疫站ポリオラボの人材が育成される。 3. 南方ハイリスク省の防疫站ポリオラボの施設が整備される。 4. ナショナルラボの人材が育成される。 5. ナショナルラボの施設が整備される。 6. ラボネットワークの機能が向上する。 7. 南方ハイリスク省を中心とした中国の、住民、衛生関係者、医師にワクチン接種の必要性の認識が定着する。 8. 中国の政府、病院、防疫関係者がポリオについて十分理解する。</p>	<p>1-1. プロジェクトによる各省のサーベイランス指導回数 1-2. 各省の患者発生報告数 1-3. 各省のAFP報告率 1-4. 各省のAFP診断調査活動の回数及び診察患者数 1-5. 各省の大規模接種回数 1-6. 各省の大規模接種実施率 1-7. 各省のAFP症例報告採集率 1-8. 各省の報告遅れAFP数 1-9. 各省のワークショップセミナー開催数、講義回数、参加者数 2-1. 訪問調査回数 2-2. ワークショップセミナー開催数、講義回数、参加者数 2-3. 国内外研修参加者数 3. ラボ整備 (スタッフ配置、設備) 状況 4-1. ウイルス検査実施適時性 4-2. 研修参加者数 5. ラボ整備 (スタッフ配置、設備) 状況 6-1. 省ラボからナショナルラボへのウイルス検査結果報告適時性 6-2. 省ラボからナショナルラボへの検体送付適時性 6-3. ナショナルラボから省ラボへの検査結果報告適時性 7-1. 疫学調査回数、調査結果 7-2. 定期接種の実施状況、カバー率 7-3. SNID及び他の強化免疫の実施回数、カバー率 8-1. ポリオ教育宣伝用マニュアル、パンフレット配布数 8-2. 国際機関と連携したレビュー、啓蒙活動の実施回数</p>	<p>1-1. 専門業務報告 1-2. 衛生部報告・各省報告 1-3. 衛生部報告・各省報告 1-4. 専門業務報告 1-5. 衛生部報告・各省報告 1-6. 衛生部報告・各省報告 1-7. 衛生部報告・各省報告 1-8. プロジェクト四半期報告・専門業務報告 1-9. セミナー開催報告 2-1. 専門業務報告 2-2. 専門業務報告 2-3. 研修報告書 2-4. WHO報告・衛生部報告・各省報告 2-5. 衛生部報告 3. 専門業務報告・WHO報告 4-1. WHO報告 4-2. 研修報告書 5. 専門業務報告 6-1. 衛生部報告・各省報告 6-2. 衛生部報告・各省報告 6-3. 衛生部報告・各省報告 7-1. 専門業務報告 7-2. 衛生部報告・各省報告 7-3. 衛生部報告・各省報告 8-1. プロジェクト報告書 8-2. 専門業務報告・WHO報告 8-3. 啓蒙普及活動報告</p>	<p>a. 各省のコールドチェーンが維持される。 b. 各省の適切な定期接種システムが維持される。 c. 衛生部により必要な地域に対する強化ワクチン接種 (SNID等) が実施される。 d. 各省において未登録児、流动人口への接種が有効に行われる。 e. 各省のワクチン運搬用サーベイランスに必要な車両が充足される。 f. 各省のAFPサーベイランス、実験室診断に対する充分な予算的裏付けがある。</p>
<p>活動 1-1. 防疫センター及び医療施設訪問によるフィールドサーベイランスの指導、患者診察技術の移転を行う。 1-2. 中堅技術者養成によりサーベイランス関係者のワークショップセミナーを開催する。 2-1. 省ポリオラボに対する現状調査とウイルス学的診断の技術指導を行う。 2-2. 中堅技術者養成によって省ポリオラボ技術者のワークショップセミナーを開催する。 2-3. 国内、国外研修により、省ポリオラボ検査技術員を育成する。 3-1. 省ポリオラボの検査機材の整備、新機材の導入を行う。 3-2. 省ポリオラボの試薬、消耗品の支援を行う。 4-1. ナショナルラボの検査業務の助言、指導を行う。 4-2. 国外研修により、ナショナルラボの若手技術員を育成する。 5. ナショナルラボの機材の整備および新機材の導入を行う。 6-1. ナショナルラボに対しラボネットワーク構築のアドバイスを行う。 6-2. 全国各省ラボに対し巡回指導を行う。 6-3. 中堅技術者養成によって全国ラボ技術者のセミナーを開催する。 7-1. ワクチン接種率の調査を行う。 7-2. ワクチン接種 (定期接種、SNID) に関するアドバイスを行う。 8-1. ポリオ教育宣伝用マニュアル、パンフレットを作成する。 8-2. 中央政府に対しポリオ根絶計画全体のアドバイスを行う。 8-3. WHO、UNICEF等国際機関と連携して各省レビュー、啓蒙普及活動を行う。 8-4. 各レベルの防疫担当者に対し、ポリオ根絶活動に関する啓蒙普及活動を行う。</p>	<p>日本側 専門家派遣 (長期及び短期) ①チーフアドバイザー ②業務調整 ③ウイルス学 ④サーベイランス ⑤臨床神経学 ⑥その他 研修員受入 1~5名/年 供与機材 1000万~7000万程度/年 専門家携行機材</p> <p style="text-align: center;">投入 中国側 プロジェクトの実施責任者 カウンターパート ①公衆衛生行政 ②ウイルス学 ③サーベイランス ④その他 スタッフ 秘書 専務員 通訳 タイピスト 運転手 施設資金 運営費</p>	<p>a. 各省の定期接種システムが機能している。 b. 各省の定期接種用ポリオワクチンが十分に確保される c. 各省のコールドチェーンが機能している。</p>	<p>Pre-conditions 南方ハイリスク省を中心とした中国の医師、防疫関係者がプロジェクトに協力する。</p>

